

研修報告書（研修費）

令和6年11月15日

長久手市議会議長
木村 さゆり 様

長久手市議会議員 川合 ともゆき

政務活動費を充てることができる経費の範囲の運用指針により次のとおり届け出ます。

| | |
|---------|--|
| 年 月 日 | 令和 6年10月17日（木）から 令和 6年10月18日（金）までの 2日間 |
| 研 修 先 | 第86回全国都市問題会議 (行程表は別表のとおり) |
| 成 果 | 別紙 |
| 経 費 | 金 39,975円（政務活動費対象経費） 金 39,975円（全体経費） (明細は別添のとおり) |
| 提 出 資 料 | ○領収書の写し |

※研修を実施した後は議長に1ヶ月以内に提出するものとする。ただし、1ヶ月以内が翌年度の4月20日を経過する場合は20日までとする。

※研修前後の調査研究については対象とできる。ただし、その場合は実施日の2週間前までに別紙様式第1号の「行政視察届（調査研究費）」に行程表を添付して議長に提出する。また、調査研究にかかる費用は、「調査研究費」の科目で整理する。

行程表

第86回全国都市問題会議

●令和6年10月17日（木）

6:40 発 7:37 発 9:14 着 17:00 着
藤が丘 ⇒ 名古屋駅 ⇒ 姫路駅 ⇒ アクリエひめじ ⇒ 東横イン姫路駅新幹線南口
地下鉄 ひかり 535号

●令和6年10月18日（金）

9:00 発 13:59 発 15:19 着 16:00 着
東横イン姫路駅新幹線南口 ⇒ アクリエひめじ ⇒ 姫路駅 ⇒ 名古屋駅 ⇒ 藤が丘
のぞみ 96号 地下鉄

費用明細

| | | |
|-----|--------------|----------|
| 地下鉄 | 藤が丘 ⇄ 名古屋 | 620 円 |
| 新幹線 | 名古屋 ⇄ 姫路 | 18,270 円 |
| 参加費 | 第86回全国都市問題会議 | 13,000 円 |
| 宿泊費 | 東横イン姫路駅新幹線南口 | 8,085 円 |
| 計 | | 39,975 円 |

令和6年11月15日
川合ともゆき

第86回全国都市問題会議研修報告

健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～
会議日程について

1日目 令和6年10月17日（木）

9：30

開会式

9：50 基調講演

生命を捉えなおす一動的平衡の視点から一
生物学者、青山学院大学教授 福岡伸一氏

11：00 主報告

市民の「LIFE」（命・暮らし・一生）を守り支える
姫路の健康づくりとまちづくり

兵庫県姫路市長 清元秀泰氏

12：00

昼食

13：10 一般報告

生き物から学ぶ健康なまちづくり
筑波大学システム情報系教授 谷口守氏

14：10

休憩

14：30 一般報告

都市そのものを健康にするまちづくり
～ストレスを軽減し、リフレッシュできるまちへ～

千葉県流山市長 井崎義治氏

15：30 一般報告

IT/AIの健康分野への適用例
～姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防～
兵庫県立大学副学長 畠豊氏

16：30

終了

基調講演において福岡氏は、動的平衡の観点から人間の一生をエントロピーの増大に抗いながら自身をすり減らしながら維持しつつ最期を迎える消えていくという人間という生命体と都市との共通性の考察を講演された。主報告においては、開催地である姫路の健康づくりまちづくりということで健康寿命、介護予防、ICTを利用した健康づくり、こどもたちや子育て世代に対する施策、少子高齢化の対策を講演された。谷口氏は、街も長くなると様々な問題がおきて健全ではなくなっていく、人間と都市において起こる事象は連動しているということであった。井崎氏は、健康都市ということで流山健康都市プログラムやつくばエクスプレス沿線区画整理事業においての緑の伐採問題、順調に整理地も売れ子育て世代の増加やこれから団塊の世代の物件が相続財産として出てくるのでプランディング戦略で売っていき空き家対策をしていく等の講演をされた。畠氏は、歌唱による誤嚥予防ということで姫路市の健康診断データを用いて通常の解析を行うが総合的な評価は難しい。そこでファジイ理論においてファジイ解析することによって評価が分かりやすくなるという主張であった。当市も空き家は増えていくだろうから参考にしていきたいと感じた。

2日目 10月 18日（金）9：30

パネルディスカッション

【テーマ】

健康づくりとまちづくり

～市民の一生に寄り添う都市政策～

【コーディネーター】

中央大学法学部教授

宮本太郎氏

【パネリスト】

高岡病院児童精神科医

三木嵩弘氏

NPO 法人日本栄養パトネット理事長

奥村圭子氏

長野県茅野市長

今井敦氏

大阪府泉大津市長

南出賢一氏

パネルディスカッションにおいてはコーディネーターの宮本氏が各パネリストに話を振って進めていたが泉大津の南出市長がコロナワクチンの話をされたが、市民の一生に寄り添う都市政策というテーマの観点からされたとは思うが、内容はともかく他のパネリスト

の方やテーマとの整合性を出すのに宮本氏が苦労している感じであった。どのような話題でも鵜呑みにせず、自分で個人でしっかりと考えること、思考することの大切さを感じた。

閉会式 11時50分

次期開催市市長挨拶

栃木県宇都宮市長 佐藤栄一氏

閉会挨拶

公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長
小早川光郎氏

